

# 水稻新品種「八反35号」の育成について

竹井孝行・古川和雄・前重道雅

## 1 ま え が き

本県の酒米品種八反10号は古くから好評を博しているが、近年、酒米の生産はだんだん減少し、需要をはるかに下まわっている。

その原因として、酒米品種は一般の小粒品種に比べて品種改良がおくれ、耐病性、耐倒伏性ならびに収量性などが劣るためと考えられる。

しかるに、本県の酒米主産地である中北部地帯ではほかに適当な早熟品種がないため、やむなく諸特性の劣る八反10号を用いているのが現状である。

そこで八反10号の欠点を補い、八反10号より早熟で、短稈で倒伏に強く、イモチ病耐病性、カラバエ耐虫性を具備する良質多収品種の育成を育種目標として、昭和27年から育成を開始した。以来、選抜固定をはかり昭和37年雑種第10代において本県奨励品種に採用されたものである。ここに本品種の育成経過および特性のあらましを報告する。

本品種の育成および試験の実施にあたっては関係機関各位ならびに現地試験担当者に多大の援助を得た。ここに記して深く謝意を表する。

## 2 育 成 経 過

「八反35号」は、昭和27年、広島県立農業試験場吉舎支場において、「八反10号」を母、「秀峰」を父として人工交配を行ない、以後、系統育種法により選抜固定をはかり育成したものである。

昭和32年、雑種第5代から「吉交A5—24」なる系統名を付し、生産力検定試験を吉舎支場ならびに本場で開始し、昭和36年には高冷地支場でも検討した。さらに現地適応性を検討するため、昭和32年から酒米主産地の比婆郡比和町、ひきつづき世羅郡世羅町西太田、山県郡千代田町で検討を加えた。その結果、成績優良とみとめ、昭和37年、本県奨励品種に採用され、「八反35号」と命名された。なお昭和41年F.A.O（国連食糧農業機構）に新品種として登録された。

## 3 特 性

### 1) 形態的特性

八反10号に比較して10～15cm短稈でやや小穂、穂数は八反10号なみの穂重型品種。芒はなく、粃、稈先色とも黄白で熟色はきわめて良好、粒着は中密で、脱粒性は八反10号なみの易である。

玄米は大粒で、光沢、整粒ともすぐれ、形状は粒長がやや短く、巾、厚さが大で、一見、丸みをおびている。

心白の発生は鮮明で大きく、心白粒歩合は八反10号にまさる。検査等級も八反10号よりよい。醸造試験の結果もよく、芳じゅんな酒ができ、吟醸用に適するという。

第1表 生育調査ならびに生育障害観察成績

場 所	品 種 名	出穂期 (月日)	成熟期 (月日)	稈長 (cm)	穂長 (cm)	穂数 (本)	倒伏の 多 少	病 虫 害 の 多 少			
								葉イ モチ	首イ モチ	カラ バエ	ニカメイ チュウ
吉 倉 支 場	八 反 3 5 号	8.12	9.22	87	18.7	15	ナビク	△	ビ	△	中
	(比)八反10号	8.16	9.26	104	19.8	14	少	△	少	少	多
本 場	八 反 3 5 号	8.14	9.21	91	18.8	13	ナビク	ビ	ビ	ビ	少
	(比)八反10号	8.18	9.27	104	20.1	13	少	少	ビ	ビ	少
高冷地支場	八 反 3 5 号	8.6	9.16	105	20.1	12	ナビク	ビ	ビ	ビ	—
	(比)八反10号	8.9	9.19	116	21.6	13	ナビク	少	ビ	少	—
比和試験地	八 反 3 5 号	8.6	9.9	88	18.5	10	△	△	少	少	△
	(比)八反10号	8.8	9.15	95	19.6	9	ナビク	ビ	少	中	△

試験年度 吉倉支場, 本場は昭32~35, 高冷地支場は昭36, 比和試験地は昭32~36

第2表 特性調査成績

品 種 名	稈		芒		稈色 および 稈先色	粒着 粗密	脱粒 難易	玄 米		心 白	
	細太	剛柔	多少	長短				形 状	光 沢	多 少	大 小
八 反 3 5 号	や太	中	△	—	黄白	中密	易	中大やや円	中,暗銀白	多の少	大
(比)八反10号	太	中	△	—	黄白	中	易	大の中	中,鈍白	中の多	大
(比)秀 峰	中細	剛	△	—	黄白	中密	難	中の小	中上	△	—

## 2) 生態的特性

出穂, 成熟期とも八反10号より4~5日早く, 早生の早いものに属する。

短稈であるため, 倒伏には八反10号より強く, イモチ耐病性は, 葉, 穂首, 枝梗イモチ病ともに八反10号よりまざる。北部地帯で問題になるカラバエの被害も少ない。

シラバガレ病にやや弱いようであるが, 早生種であるため, ほとんど回避する。

第3表 収量ならびに品質調査成績

場 所	品 種 名	aあたり玄米重※		玄 米		心白粒合 歩合 (%)	品 質	
		kg	%	1000粒重 (g)	1ℓ重 (g)		等 級	順位
吉 倉 支 場	八 反 3 5 号	47.1	105	23.8	831	59.2	2等下	1
	(比)八反10号	45.4	100	25.2	833	58.3	2等下	2
本 場	八 反 3 5 号	40.0	96	22.7	825	48.5	3等上	1
	(比)八反10号	41.9	100	23.9	833	47.3	3等上	2
高冷地支場	八 反 3 5 号	51.6	107	24.3	—	多	3等上	1
	(比)八反10号	48.3	100	25.3	—	多	3等中	2
比和試験地	八 反 3 5 号	42.3	107	25.0	836	75.3	2等中	1
	(比)八反10号	40.9	100	25.3	840	69.2	2等下	2

※酒造米検査合格を目標に精選した重量, 試験年度は第1表に同じ

第4表 玄米特性調査成績（吉舎支場 昭38）

栽培様式	品 種 名	玄米硬度 (kg)	玄米比重	心白粒歩合 (%)	心白占有度※ (%)
移 植	八 反 3 5 号	3.97	1.397	59.2	8.7
	(比) 八 反 10 号	4.05	1.401	56.7	6.9
湛 水 直 播	八 反 3 5 号	3.67	1.397	67.3	9.7
	(比) 八 反 10 号	4.00	1.401	66.0	7.7
乾 田 直 播	八 反 3 5 号	3.38	1.397	69.3	11.4
	(比) 八 反 10 号	3.39	1.401	70.3	10.1

※玄米中に占める心白部分の大きさの割合（心白部分の三径相乗積/玄米の三径相乗積）

生産力は、八反10号栽培地帯では八反10号よりは明らかに多収を示す。  
生育、収量、一般特性ならびに玄米特性調査成績は第1～4表に示した。

#### 4 適地ならびに栽培上の注意点

栽培地帯は、標高300m以上の中北部、高冷地帯の八反10号栽培適地帯に好適する。早生種の早いものに属するため、中部以南では収量があがらない。

ほ場としては、肥せき中庸の排水良好な砂壤土に適する。八反10号より、耐肥性、耐病性はまさっているが、すぐれた酒造米生産のためには、肥沃田、湿田、日かげ地、強度の秋落田はさけるべきである。またイモチ病、シラハガレ病激発地はさける。

栽培法としては、八反10号と同じく、少けつ性であるため、また、品質特性向上のため密植をする必要がある。

### Summary

#### On the New Paddy Rice Variety "Hattan No. 35"

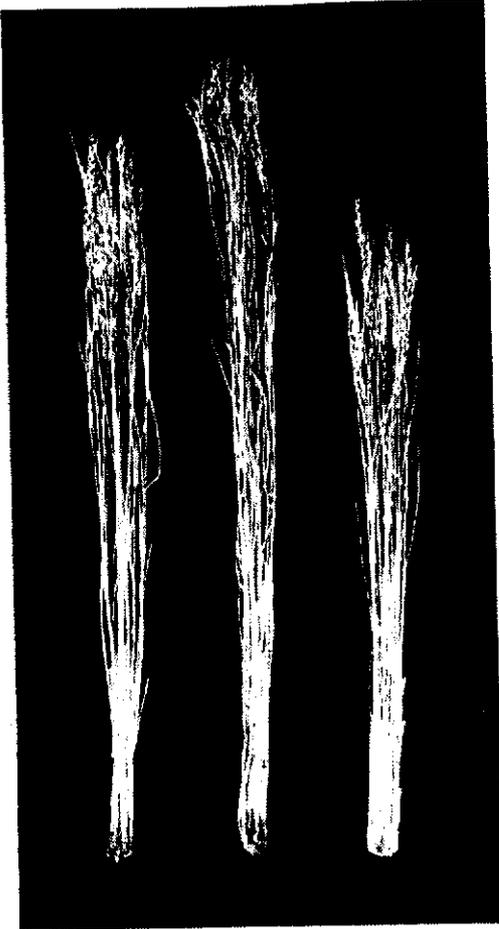
Takayuki TAKEI, Kazuo FURUKAWA and Michimasa MAESHIGE

A new paddy rice variety "Hattan No. 35" was developed by the cross between Hattan No. 10 and Shuho, made at the Hiroshima Agricultural Experiment Station, Kisa Branch in 1952. Hattan No. 35 was selected primarily on the basis of its blast resistance, grain quality and general plant characteristics. It was adopted as a recommended variety in Hiroshima Prefecture in 1962.

The maturing time of Hattan No. 35 is a few days earlier than that of the early variety, Hattan No. 10. It is shorter in culm length than Hattan No. 10. This variety is more resistant to leaf-blast, neck-rot, stem-maggot and lodging than Hattan No. 10. Its spikelet is non-shedding, and its grain is good in quality for brewery rice.

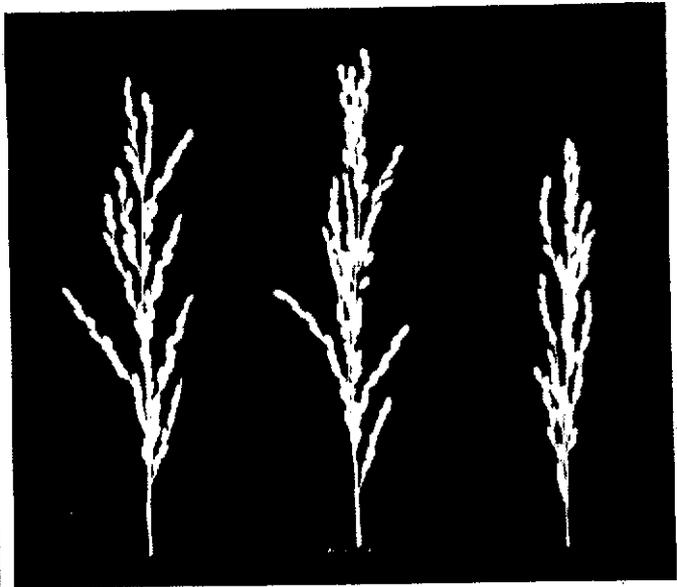
This variety is well adapted in sandy loam of paddy fields in mountainous regions where Hattan No. 10 have been prevailing.

写真版Ⅰ Photo Plate Ⅰ



A B C

写真版Ⅱ Photo Plate Ⅱ



A B C

写真版Ⅲ Photo Plate Ⅲ

注 Note

A 八反35号

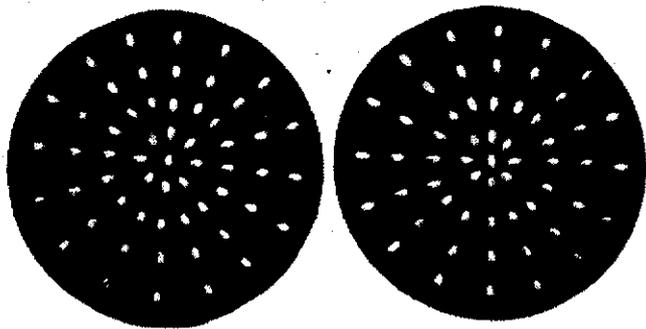
Hattan No. 35

B 八反10号

(♀) Hattan No. 10

C 秀峰

(♂) Shūhō



A

B

## 広島県立農業試験場報告 第27号

## 正 誤 表

頁	所	在	誤	正
11	下	3 段	葉熟期	成熟期
43	下	4 段	percentage As	percentage. As
48	下	4 段	breebing	breeding
54	下	9 段	plant	Plant
54	下	4 段	autmn	autumn